

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約 9 年10ヵ月間（2013年 7 月10日～2023年 5 月12日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビー ファンド	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。 ハ. ダイワ・インド・ルピー マザーファンドの受益証券
ベビーファンドの運用方法	①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ※インド債券等への投資に当っては、マザーファンドを通じて投資を行なう場合があります。 ②運用に当っては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、次の債券とします。 i. インド・ルピー建ての債券 ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券 b. 国際機関等が発行する債券 ※インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。 （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。 ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用に当っては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザリー（インド）プライベート・リミテッドおよび SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。 ④インド債券等の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ベビー ファンド のマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第 1 および第 2 計算期末には、収益の分配は行ないません。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

インド・ボンド・オープン （毎月決算型）

運用報告書（全体版）

第35期（決算日	2016年 6 月13日）
第36期（決算日	2016年 7 月12日）
第37期（決算日	2016年 8 月12日）
第38期（決算日	2016年 9 月12日）
第39期（決算日	2016年10月12日）
第40期（決算日	2016年11月14日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「インド・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第40期の決算を行ないました。

ここに、第35期～第40期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2

（営業日の 9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ＪＰモルガンＧＢＩーＥＭインド (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
11期末(2014年 6 月12日)	10,515	10	3.9	10,684	4.3	96.6	1
12期末(2014年 7 月14日)	10,232	10	△ 2.6	10,385	△ 2.8	97.4	1
13期末(2014年 8 月12日)	10,128	10	△ 0.9	10,341	△ 0.4	96.5	1
14期末(2014年 9 月12日)	10,807	10	6.8	11,053	6.9	96.8	1
15期末(2014年10月14日)	10,893	10	0.9	11,149	0.9	96.7	1
16期末(2014年11月12日)	11,975	10	10.0	12,309	10.4	96.3	1
17期末(2014年12月12日)	12,491	10	4.4	12,864	4.5	96.9	1
18期末(2015年 1 月13日)	12,443	10	△ 0.3	12,856	△ 0.1	97.0	1
19期末(2015年 2 月12日)	12,796	10	2.9	13,247	3.0	97.4	1
20期末(2015年 3 月12日)	12,826	10	0.3	13,342	0.7	92.4	1
21期末(2015年 4 月13日)	12,905	60	1.1	13,410	0.5	93.0	171
22期末(2015年 5 月12日)	12,363	60	△ 3.7	12,962	△ 3.3	97.7	181
23期末(2015年 6 月12日)	12,699	60	3.2	13,309	2.7	98.5	186
24期末(2015年 7 月13日)	12,775	60	1.1	13,490	1.4	99.1	187
25期末(2015年 8 月12日)	12,880	60	1.3	13,653	1.2	98.5	203
26期末(2015年 9 月14日)	11,947	60	△ 6.8	12,872	△ 5.7	97.7	191
27期末(2015年10月13日)	12,308	60	3.5	13,338	3.6	96.8	197
28期末(2015年11月12日)	12,252	60	0.0	13,411	0.5	97.4	216
29期末(2015年12月14日)	11,790	60	△ 3.3	12,984	△ 3.2	97.4	207
30期末(2016年 1 月12日)	11,586	60	△ 1.2	12,870	△ 0.9	96.6	203
31期末(2016年 2 月12日)	10,742	60	△ 6.8	12,000	△ 6.8	97.0	188
32期末(2016年 3 月14日)	11,022	60	3.2	12,429	3.6	96.4	193
33期末(2016年 4 月12日)	10,815	60	△ 1.3	12,280	△ 1.2	96.6	190
34期末(2016年 5 月12日)	10,792	60	0.3	12,332	0.4	96.5	189
35期末(2016年 6 月13日)	10,512	60	△ 2.0	12,094	△ 1.9	96.4	185
36期末(2016年 7 月12日)	10,219	60	△ 2.2	11,849	△ 2.0	97.2	179
37期末(2016年 8 月12日)	10,519	60	3.5	12,345	4.2	96.9	185
38期末(2016年 9 月12日)	10,534	60	0.7	12,442	0.8	95.8	185
39期末(2016年10月12日)	10,670	60	1.9	12,730	2.3	94.7	187
40期末(2016年11月14日)	10,884	60	2.6	13,131	3.1	94.5	170

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ＪＰモルガン ＧＢＩーＥＭ インド(円換算)は、ＪＰモルガン ＧＢＩーＥＭ インド(インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＪＰモルガン ＧＢＩーＥＭ インド(インド・ルピーベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

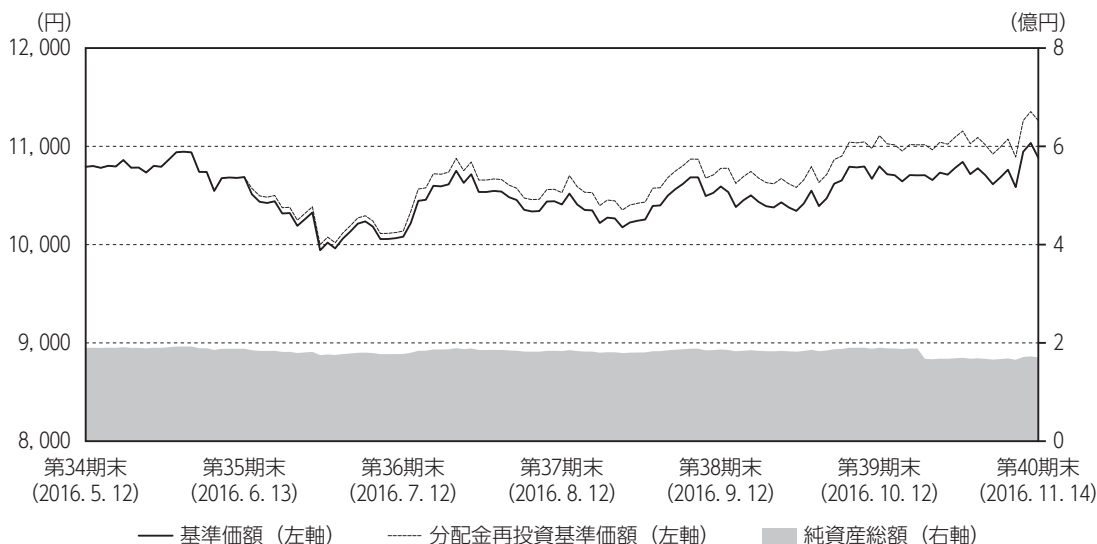
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第35期首：10,792円

第40期末：10,884円（既払分配金360円）

騰落率：4.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、債券価格の上昇および債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭインド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第35期	(期首) 2016年 5 月12日	円 10, 792	% —	12, 332	% —	% 96. 5
	5 月末	10, 945	1. 4	12, 520	1. 5	96. 3
	(期末) 2016年 6 月13日	10, 572	△ 2. 0	12, 094	△ 1. 9	96. 4
第36期	(期首) 2016年 6 月13日	10, 512	—	12, 094	—	96. 4
	6 月末	10, 133	△ 3. 6	11, 679	△ 3. 4	94. 9
	(期末) 2016年 7 月12日	10, 279	△ 2. 2	11, 849	△ 2. 0	97. 2
第37期	(期首) 2016年 7 月12日	10, 219	—	11, 849	—	97. 2
	7 月末	10, 540	3. 1	12, 253	3. 4	97. 0
	(期末) 2016年 8 月12日	10, 579	3. 5	12, 345	4. 2	96. 9
第38期	(期首) 2016年 8 月12日	10, 519	—	12, 345	—	96. 9
	8 月末	10, 499	△ 0. 2	12, 293	△ 0. 4	95. 5
	(期末) 2016年 9 月12日	10, 594	0. 7	12, 442	0. 8	95. 8
第39期	(期首) 2016年 9 月12日	10, 534	—	12, 442	—	95. 8
	9 月末	10, 392	△ 1. 3	12, 277	△ 1. 3	94. 9
	(期末) 2016年10月12日	10, 730	1. 9	12, 730	2. 3	94. 7
第40期	(期首) 2016年10月12日	10, 670	—	12, 730	—	94. 7
	10 月末	10, 718	0. 4	12, 793	0. 5	96. 3
	(期末) 2016年11月14日	10, 944	2. 6	13, 131	3. 1	94. 5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○インド債券市況**

当作成期間前半のインド債券市況は、インフレ率は上振れしたものの根強く残る利下げ観測と、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測が後退したことによりインド債券市場への投資センチメントが良好だったことで、金利は低下（債券価格は上昇）して推移しました。当作成期間の後半は、州ごとに異なる間接税を統一する物品サービス税（G S T）の憲法改正案が可決され、2017年4月の導入に向けて進展していることにより金利は堅調に推移しました。また、インフレ率が低下したため、利下げが行なわれたことで金利は低下しました。

○為替相場

当作成期間前半の為替相場は、国内要因は限定的となり、米国雇用統計およびイエレンF R B議長の発言により利上げ観測が後退したことはインド・ルピーの上昇要因でしたが、英国のE U（欧州連合）離脱派勝利の国民投票結果を受けて、円高が進行しました。当作成期間の後半は、G S Tの導入が可決されたことはルピーの上昇に寄与しましたが、O P E C（石油輸出国機構）の減産合意予想の是非や米国の大統領選挙の世論調査および選挙結果に、リスク回避姿勢が強まる局面もありました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

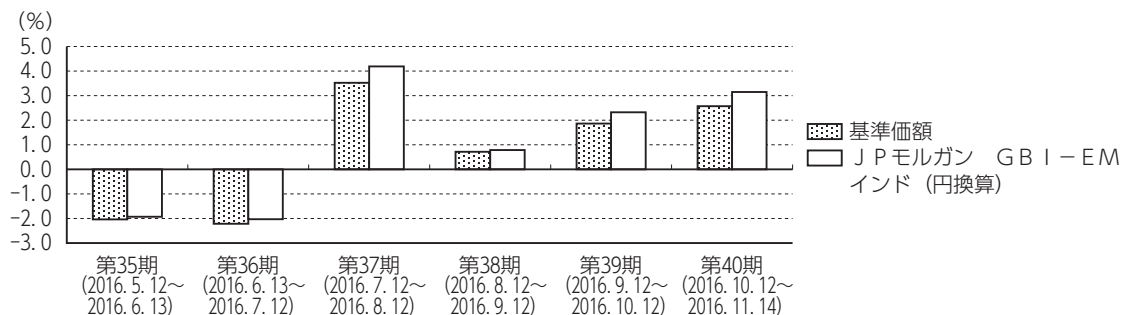
○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第35期から第40期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2016年5月13日 ～2016年6月13日	2016年6月14日 ～2016年7月12日	2016年7月13日 ～2016年8月12日	2016年8月13日 ～2016年9月12日	2016年9月13日 ～2016年10月12日	2016年10月13日 ～2016年11月14日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（％）	0.57	0.58	0.57	0.57	0.56	0.55
当期の収益（円）	49	39	54	47	49	57
当期の収益以外（円）	10	20	5	12	10	2
翌期繰越分配対象額（円）	2,924	2,903	2,897	2,885	2,875	2,872

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	49.71円	39.29円	54.65円	47.83円	49.88円	57.21円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,870.24	2,870.25	2,870.26	2,870.27	2,870.28	2,870.30
(d) 分配準備積立金	64.06	53.77	33.06	27.72	15.55	5.44
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,984.02	2,963.32	2,957.99	2,945.83	2,935.73	2,932.96
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,924.02	2,903.32	2,897.99	2,885.83	2,875.73	2,872.96

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	(2016. 5. 13～2016. 11. 14)		
	金 額	比 率	
信託報酬	78円	0.742%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,525円です。
（投信会社）	(35)	(0.332)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(41)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	9	0.086	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.053)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(3)	(0.029)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	87	0.827	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注3）比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年5月13日から2016年11月14日まで)

決 算 期	第 35 期 ～ 第 40 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	—	—	17,363	30,057

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第35期～第40期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第34期末	第 40 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	112,070	94,707	169,507

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年11月14日現在

項 目	第 40 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	169,507	98.9
コール・ローン等、その他	1,931	1.1
投資信託財産総額	171,439	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.36円、1インド・ルピー＝1.60円です。

(注3) ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第40期末における外貨建純資産（2,239,805千円）の投資信託財産総額（2,298,797千円）に対する比率は、97.4%です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2016年5月13日～2016年11月14日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が9件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年6月13日)、(2016年7月12日)、(2016年8月12日)、(2016年9月12日)、(2016年10月12日)、(2016年11月14日)現在

項 目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
(A) 資産	186,318,598円	181,153,724円	186,502,815円	186,785,974円	189,213,316円	171,439,159円
コール・ローン等	2,162,885	2,103,821	2,128,137	2,142,515	2,132,394	1,931,812
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド（評価額）	184,155,713	179,049,903	184,374,678	184,643,459	187,080,922	169,507,347
(B) 負債	1,298,072	1,264,813	1,287,494	1,287,292	1,283,237	1,173,581
未払収益分配金	1,056,055	1,056,239	1,056,430	1,056,617	1,056,804	938,579
未払信託報酬	240,685	206,104	227,337	225,696	220,237	227,550
その他未払費用	1,332	2,470	3,727	4,979	6,196	7,452
(C) 純資産総額（A－B）	185,020,526	179,888,911	185,215,321	185,498,682	187,930,079	170,265,578
元本	176,009,188	176,039,951	176,071,777	176,102,876	176,134,111	156,429,962
次期繰越損益金	9,011,338	3,848,960	9,143,544	9,395,806	11,795,968	13,835,616
(D) 受益権総口数	176,009,188口	176,039,951口	176,071,777口	176,102,876口	176,134,111口	156,429,962口
1万口当り基準価額（C／D）	10,512円	10,219円	10,519円	10,534円	10,670円	10,884円

* 第34期末における元本額は175,979,389円、当作成期間（第35期～第40期）中における追加設定元本額は185,733円、同解約元本額は19,735,160円です。

* 第40期末の計算口数当りの純資産額は10,884円です。

■損益の状況

第35期	自 2016年 5月13日 至 2016年 6月13日	第37期	自 2016年 7月13日 至 2016年 8月12日	第39期	自 2016年 9月13日 至 2016年10月12日	
第36期	自 2016年 6月14日 至 2016年 7月12日	第38期	自 2016年 8月13日 至 2016年 9月12日	第40期	自 2016年10月13日 至 2016年11月14日	
項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(A) 配当等収益	△ 5円	△ 30円	△ 31円	△ 33円	△ 24円	△ 10円
支払利息	△ 5	△ 30	△ 31	△ 33	△ 24	△ 10
(B) 有価証券売買損益	△ 3,632,012	△ 3,900,442	6,578,943	1,534,246	3,676,777	4,526,621
売買益	—	—	6,578,943	1,534,246	3,676,777	4,596,294
売買損	△ 3,632,012	△ 3,900,442	—	—	—	△ 69,673
(C) 信託報酬等	△ 242,017	△ 207,242	△ 228,594	△ 226,948	△ 221,454	△ 228,806
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,874,034	△ 4,107,714	6,350,318	1,307,265	3,455,299	4,297,805
(E) 前期繰越損益金	△ 33,837,579	△ 38,767,668	△ 43,931,621	△ 38,637,733	△ 38,387,085	△ 31,957,032
(F) 追加信託差損益金	47,779,006	47,780,581	47,781,277	47,782,891	47,784,558	42,433,422
(配当等相当額)	(50,518,880)	(50,527,965)	(50,537,303)	(50,546,421)	(50,555,533)	(44,900,163)
(売買損益相当額)	(△ 2,739,874)	(△ 2,747,384)	(△ 2,756,026)	(△ 2,763,530)	(△ 2,770,975)	(△ 2,466,741)
(G) 合計 (D + E + F)	10,067,393	4,905,199	10,199,974	10,452,423	12,852,772	14,774,195
(H) 収益分配金	△ 1,056,055	△ 1,056,239	△ 1,056,430	△ 1,056,617	△ 1,056,804	△ 938,579
次期繰越損益金 (G + H)	9,011,338	3,848,960	9,143,544	9,395,806	11,795,968	13,835,616
追加信託差損益金	47,779,006	47,780,581	47,781,277	47,782,891	47,784,558	42,433,422
(配当等相当額)	(50,518,880)	(50,527,965)	(50,537,303)	(50,546,421)	(50,555,533)	(44,900,163)
(売買損益相当額)	(△ 2,739,874)	(△ 2,747,384)	(△ 2,756,026)	(△ 2,763,530)	(△ 2,770,975)	(△ 2,466,741)
分配準備積立金	946,663	582,206	488,180	274,010	95,921	41,603
繰越損益金	△ 39,714,331	△ 44,513,827	△ 39,125,913	△ 38,661,095	△ 36,084,511	△ 28,639,409

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	875,081円	691,782円	962,404円	842,447円	878,715円	895,006円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	50,518,880	50,527,965	50,537,303	50,546,421	50,555,533	44,900,163
(d) 分配準備積立金	1,127,637	946,663	582,206	488,180	274,010	85,176
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	52,521,598	52,166,410	52,081,913	51,877,048	51,708,258	45,880,345
(f) 分配金	1,056,055	1,056,239	1,056,430	1,056,617	1,056,804	938,579
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	51,465,543	51,110,171	51,025,483	50,820,431	50,651,454	44,941,766
(h) 受益権総口数	176,009,188口	176,039,951口	176,071,777口	176,102,876口	176,134,111口	156,429,962口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円
（単 価）	(10, 512円)	(10, 219円)	(10, 519円)	(10, 534円)	(10, 670円)	(10, 884円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書 第5期（決算日 2016年11月14日）

（計算期間 2015年11月13日～2016年11月14日）

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。
運用方法	①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、次の債券とします。 i. インド・ルピー建ての債券 ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券 b. 国際機関等が発行する債券 ※インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。 （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。 ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザリー（インド）プライベート・リミテッドおよびSBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

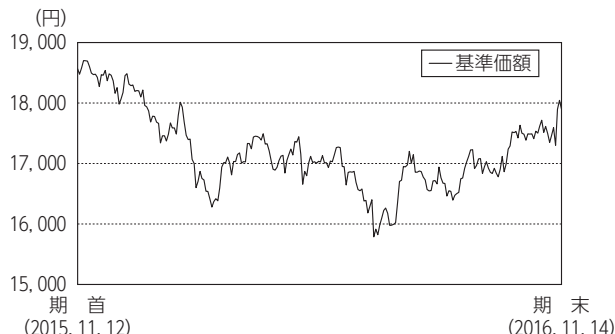
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		J Pモルガン G B I - E M インド (円換算)		公 社 債 組入比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	
(期首) 2015年11月12日	18,564	—	18,035	—	96.8
11月末	18,272	△ 1.6	17,726	△ 1.7	97.0
12月末	18,099	△ 2.5	17,605	△ 2.4	96.6
2016年 1月末	17,793	△ 4.2	17,297	△ 4.1	96.8
2月末	16,383	△ 11.7	15,889	△ 11.9	96.8
3月末	17,388	△ 6.3	16,930	△ 6.1	96.3
4月末	17,154	△ 7.6	16,711	△ 7.3	96.4
5月末	17,272	△ 7.0	16,837	△ 6.6	96.4
6月末	16,096	△ 13.3	15,706	△ 12.9	95.3
7月末	16,866	△ 9.1	16,478	△ 8.6	97.4
8月末	16,921	△ 8.9	16,531	△ 8.3	95.8
9月末	16,863	△ 9.2	16,510	△ 8.5	95.3
10月末	17,514	△ 5.7	17,204	△ 4.6	96.7
(期末) 2016年11月14日	17,898	△ 3.6	17,658	△ 2.1	95.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン G B I - E M インド (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用していません。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,564円 期末：17,898円 騰落率：△3.6%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、債券価格の上昇に加えて債券の利息収入がプラス要因となりましたが、インド・ルピーが対円で下落したことにより、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド債券市場

期の前半のインド債券市場は、R B I (インド準備銀行) が金融緩和姿勢の継続を示唆したため緩やかに金利低下 (価格は上昇) する展開でした。2016年初頭に発表された来年度政府予算案において、政府が財政赤字削減に向けた取り組みの継続を示しインフレ率の安定が確認されたことで利下げ期待が強まりました。また、R B Iも政策金利 (レポ金利) を引き下げたことで、債券市場では金利低下が進みました。期の後半は、根強く残る利下げ観測と、インド債券市場への投資センチメントが良好だったことで、金利は低下して推移しました。また、州ごとに異なる間接税を統一する物品サービス税 (G S T) の憲法改正案が可決され、2017年4月の導入に向けて進展していることにより金利は堅調に推移しました。また、インフレ率が低下したため、利下げが行なわれたことで金利は低下しました。

○為替相場

期の前半の為替相場は、米国の利上げ観測が高まる中で米ドルが主要通貨に対して上昇しやすい環境でしたが、世界的に株式が下落して市場全体のリスク回避姿勢が強まったことで、安全通貨である円が主要通貨に対して上昇しました。その後は、原油高と株値の持ち直しにより、市場全体のリスク回避姿勢が緩和し、インド・ルピーを含む新興国通貨が堅調になる局面があったものの、日銀の金融政策への懐疑的な見方や米国の利上げペースが後退するとの観測から円高が進行し、対円でルピーは下落しました。期の後半は、国内要因は限定的となり、米国雇用統計およびイエレン F R B (米国連邦準備制度理事会) 議長の発言により利上げ観測が後退したことはルピーの上昇要因でしたが、英国の E U (欧州連合) 離脱派勝利の国民投票結果を受けて、円高が進行しました。また、G S Tの導入が可決されたことはルピーの上昇に寄与しましたが、O P E C (石油輸出国機構) の減産合意予想の是非や米国の大統領選挙の世論調査および選挙結果に、リスク回避姿勢が強まり下落する局面もありました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	32 (20)
(その他)	(12)
合 計	32

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年11月13日から2016年11月14日まで)

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Food Corp of India (インド) 9.95% 2022/3/7	95,728	India Government Bond (インド) 8.79% 2021/11/8	176,179
India Government Bond (インド) 9.23% 2043/12/23	95,663	India Government Bond (インド) 8.07% 2017/7/3	89,965
India Government Bond (インド) 8.3% 2042/12/31	86,730	India Government Bond (インド) 7.16% 2023/5/20	77,215
India Government Bond (インド) 8.17% 2044/12/1	84,738	State Bank of India London (インド) 4.125% 2017/8/1	26,689
India Government Bond (インド) 7.72% 2055/10/26	84,426	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 1% 2018/10/5	20,980
Axis Bank Ltd/Dubai (インド) 2.875% 2021/6/1	57,283	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2.125% 2016/3/15	5,555
State Bank of India London (インド) 4.875% 2024/4/17	47,043		
HDFC Bank Ltd/Bahrain (インド) 3% 2018/3/6	38,636		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2015年11月13日から2016年11月14日まで)

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	特殊債券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 245 (—)
		社 債 券	1,382	254 (—)
国	インド	国債証券	千インド・ルピー 217,320	千インド・ルピー 205,557 (—)
		特殊債券	53,780	— (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注 4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2015年11月13日から2016年11月14日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	3,732	636

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		末		残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入率			
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 3,460	千アメリカ・ドル 3,557	千円 381,951	% 16.6	% —	% 4.9	% 4.7	% 7.1
インド	千インド・ルピー 1,000,000	千インド・ルピー 1,123,293	千円 1,797,269	% 78.3	% —	% 74.6	% 3.7	% —
合 計	—	—	2,179,221	95.0	—	79.5	8.4	7.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

			当	期	未			
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.1250	千アメリカ・ドル 150	千アメリカ・ドル 151	千円 16,233	2023/02/13
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1.0000	100	99	10,719	2018/10/05
		Oil India Ltd	社 債 券	5.3750	200	216	23,285	2024/04/17
		Bharti Airtel Ltd	社 債 券	4.3750	240	241	25,950	2025/06/10
		HDFC Bank Ltd/Bahrain	社 債 券	3.0000	370	374	40,191	2018/03/06
		Axis Bank Ltd/Dubai	社 債 券	2.8750	560	557	59,855	2021/06/01
		State Bank of India London	社 債 券	4.8750	400	433	46,492	2024/04/17
		ICICI Bank Ltd/Hong Kong	社 債 券	5.7500	100	110	11,892	2020/11/16
		ICICI Bank Ltd/Dubai	社 債 券	4.7000	200	206	22,138	2018/02/21
		INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.4170	200	202	21,772	2017/10/10
		INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.9170	320	333	35,776	2019/02/26
		Bank of India/London	社 債 券	3.6250	620	630	67,644	2018/09/21
通貨小計	銘柄数 金 額	12銘柄			3,460	3,557	381,951	
インド		India Government Bond	国債証券	9.1500	千インド・ルピー 50,000	千インド・ルピー 56,270	千円 90,032	2024/11/14
		India Government Bond	国債証券	8.3300	50,000	54,503	87,204	2026/07/09
		India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	174,961	279,938	2030/12/05
		India Government Bond	国債証券	7.1600	50,000	51,105	81,768	2023/05/20
		India Government Bond	国債証券	8.3200	50,000	55,524	88,838	2032/08/02
		India Government Bond	国債証券	8.2800	100,000	109,285	174,856	2027/09/21
		India Government Bond	国債証券	8.3000	100,000	112,090	179,344	2042/12/31
		India Government Bond	国債証券	9.2300	100,000	124,390	199,024	2043/12/23
		India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	58,672	93,876	2030/09/30
		India Government Bond	国債証券	8.1700	50,000	56,020	89,632	2044/12/01
		India Government Bond	国債証券	7.7200	50,000	53,885	86,216	2055/10/26
		Food Corp of India	特殊債券	9.9500	50,000	55,663	89,061	2022/03/07
		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	8.1500	50,000	52,536	84,057	2030/01/21
		Power Finance Corp Ltd	社 債 券	9.7000	50,000	53,311	85,298	2020/01/31
		NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	55,076	88,121	2024/09/22
通貨小計	銘柄数 金 額	15銘柄			1,000,000	1,123,293	1,797,269	
合 計		27銘柄					2,179,221	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 直物為替先渡取引残高

2016年11月14日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	418	26

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年11月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2, 179, 221	94. 8
コール・ローン等、その他	119, 576	5. 2
投資信託財産総額	2, 298, 797	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107. 36円、1インド・ルピー＝1. 60円です。

(注 3) 当期末における外貨建純資産（2, 239, 805千円）の投資信託財産総額（2, 298, 797千円）に対する比率は、97. 4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月14日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2, 298, 797, 605円
コール・ローン等	64, 011, 452
公社債（評価額）	2, 179, 221, 599
未収入金	183, 886
未収利息	53, 618, 331
前払金	198, 859
前払費用	1, 563, 478
(B) 負債	4, 133, 825
未払金	3, 998, 825
その他未払費用	135, 000
(C) 純資産総額（A－B）	2, 294, 663, 780
元本	1, 282, 098, 195
次期繰越損益金	1, 012, 565, 585
(D) 受益権総口数	1, 282, 098, 195口
1万口当り基準価額（C／D）	17, 898円

* 期首における元本額は1, 220, 335, 308円、当期中における追加設定元本額は191, 548, 718円、同解約元本額は129, 785, 831円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）94, 707, 424円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）1, 187, 390, 771円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は17, 898円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月13日 至2016年11月14日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	136, 065, 286円
受取利息	136, 071, 005
支払利息	△ 5, 719
(B) 有価証券売買損益	△ 215, 879, 038
売買益	100, 891, 760
売買損	△ 316, 770, 798
(C) 先物取引等損益	12, 417, 562
取引益	28, 707, 879
取引損	△ 16, 290, 317
(D) その他費用	△ 3, 862, 267
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	△ 71, 258, 457
(F) 前期繰越損益金	1, 045, 041, 165
(G) 解約差損益金	△ 93, 810, 669
(H) 追加信託差損益金	132, 593, 546
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	1, 012, 565, 585
次期繰越損益金（I）	1, 012, 565, 585

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。